

Web11のもとで相互交流を楽しんでいきませんか

おお、私もここまでボケていたんだ！

毎週水曜日は朝 5 時半頃に小田原に向かって、ラジオ体操の会に参加した後、朝食会をしてからテニスコートに通う算段にしています。毎朝、城内小学校の跡地で行われている「和みの会」のラジオ体操には、一時は故根岸俊郎兄、故望月郁文兄(いずれも 3 組)と故市川陸雄兄(6 組)も加わって小田高 11 期勢が 5 名も参加していたのですが、現在では中澤秀夫兄(7 組)と私・佐々木洋(3 組)の 2 名だけとなってしまいました。ラジオ体操の後の朝食会に参加するのも楽しくてせっせと通っているのですが、昨年暮れの日にはビックリしました。小田原で車を降りた時に気が付いてはっとしたのですが、左足が白のテニスシューズで右が青のウォーキングシューズ。おお、私もここまでボケていたんだ！しかし、恥ずかしい思いをしながらラジオ体操会場に向かったのですが、意外に人の目には入っていないんですね。私自分が示す足元を見て初めて皆さんはとされておりました。それでもラジオ体操「和みの会」の皆さんはお優しいですね。すぐに「佐々木さん、それ新しいファッションですね」と声をかけて励ましてくださいました。

「ボケをも楽しむ」心境でいかなくちゃ

後日、中澤秀夫兄、水口幸治兄、山本哲照兄(いずれも 7 組で、2014/10/1 号の Web11 の記事「素晴らしき「ミニ・マイクロ同窓会」に“旅烏四人組”としてご紹介したメンバーです)との忘年会でもこの靴の話をしたところ皆さん大笑い。水口幸治兄などは奥さんにまで話して大笑いをしていたそうですよ。そして年が明けて箱根駅伝。今度はメールで「佐々木の真似をして色違いのシューズを履いている選手が何人かいたぞ」という一報。皆さんもお気づきでしたか。本当に“新しいファッション”になりつつあるようですね。しかし私は、「いや、あいつらは“本物”じゃない。私の場合は右脚にも左脚用の靴を履いていたんだから」と自分のボケの“正統性”を誇示しています。なにはともあれ、「ボケをも楽しむ」心境でいかなくちゃと思っています。ボケは高齢化によって生ずる心身の機能低下によるものなんですからね。

“出不精”による“デブ症”進行も

昨年オーストラリア旅行に出かけた時に側溝に落ち込んだのも視力の減退によって起こったボケだったので、すから、「あっ、いけね、いけね」くらいで済ましていたのですが、この時の右膝と左肘の打撲の後遺症にはいささか悩まされました。痛みが取れず、リハビリのお世話になることになったからです。拳句の果ては、週3回ほど通って楽しんでた下手っぴテニスも「暫くは停止」のご沙汰が出されてしまいました。そして、あろうことか下手っぴテニスがご法度となるに及んで、生活のリズムが崩れ、日頃の行動パターンが“全く思いがけない”方向に大きく変わってしまったところに「ボケにもおそろべきところあり」と痛感させられてしまいました。すっかり太鼓腹を膨らませて 90kg 寸前に。ふざけて「いよいよ大相撲界入りだ」と口走っても、心優しいラジオ体操仲間から、「佐々木さん、大相撲界に入ったってできるのは年寄りだけでしょ」とかわされる始末。何より、小田高時代に物理の辻村先生から「皆さん、眠っている時は死んでいるのと同じものなんですよ」と言われて以来、大嫌いになっていた睡眠の虜になって、やたらと、朝寝、昼寝、夕寝をするようになってしまったのです。

小田高 11 期会の灯を灯し続けた Web11

私は、「メンバーが二人になるまで続けよう」と思って小田高 11 期会の常任幹事役を務めさせていただいていました。この手の会を運営するためには“筋を通す”ことが重要と考えていたのですが、筋違いな行為により私の意図が遂げられなかったのを機に常任幹事役を退いたのですが、あれも改めて考えてみると私のポケ症状が発症したのもだったのかもしれない。私が退役した直後に、あんなに積極的だった学年幹事の皆さんが、どういうわけか小田高 11 期会の解散を決意されるという“全く思いがけない”方向に走られたからです。私自身もそうなのですが、小田高 11 期会活動を通じて同期生間の交流を楽しんでおられた方も多かったらと思うと私にはいたたまれない思いが募る一方でした。そんな時に、救いとなったのが、相変わらず小田高 11 期会の灯を消すことなくホームページ「小田原高等学校第 11 期」(略称 Web11)の編集を続けておられる今道周雄さん(4 組)の姿でした。そして、「小田高 11 期会の皆さんとの交易を続けていくにはこれしかない」と思い立ったのでした。

個人別とクラス別の Web11 投稿実績は

下表のように、Web11 トップページの「最新投稿欄」から 2023 年の投稿数ランキングをまとめてみましたのでご覧になってみてください。私は、ゆうゆう投稿件数トップ街道を走る柳川壺信さん(5 組)の後を追って投稿に励んでいたために、10 月以降急激にペースダウンしながら、今道周雄さん(4 組)とならんで投稿件数レースで銀メダルの地位を得ていたのですよ。

<2023 年個人別投稿実績順位>	
① 柳川壺信(5 組) 24 件	② 今道周雄(4 組)・佐々木洋(3 組) 各 15 件
④ 瀬戸章嗣(6 組)・山本哲照(7 組) 各 6 件	⑥ 大野正男(4 組) 山本哲照(7 組) 各 4 件
⑧ 植田武二(8 組/ペンネーム/上田謙二)・下赤隆庸(2 組) 各 3 件	
⑩ 久野厚夫(2 組)・中條満(7 組)・月村博(6 組)	
瀬戸松子(新小田高 11 期)・根岸幸子(3 組/故根岸敏郎兄夫人/新小田高 13 期) 各 1 件	
<2023 年クラス別投稿実績順位>	
① 5 組 24 件	② 4 組 19 件
③ 3 組 15 件	④ 7 組 11 件
⑤ 6 組 7 件	⑥ 2 組 4 件
⑦ 8 組 3 件	⑧ 新小田高生組 2 件
⑨ 1 組 0 件	⑩ 最新投稿欄に件

*「新小田高生」は城内高校卒業生のことです。

しかし、2024 年に入って出稿数ランキングは下表のように変わってきました。相変わらず、柳川壺信さん(5 組)がトップを走り、今道周雄さん(4 組)が続いていますが、昨年の柳川・今道・佐々木 YIS トリオの一角が崩れ、これに伴って 3 組もランキングリストから外れてしまいました。

<2024 年/1/1-3/16 個人別投稿実績順位>	
① 柳川壺信(5 組) 9 件	② 今道周雄(4 組) 3 件
③ 瀬戸章嗣(6 組)・山本哲照(7 組)・植田武二(8 組/ペンネーム/上田謙二) 各 2 件	
⑥ 中條満(7 組)・井尻淳(外部) 各 1 件	
<2024 年/1/1-3/16 クラス別投稿実績順位>	
① 5 組 9 件	② 4 組・7 組 各 3 件
④ 6 組 2 件	⑤ 8 組・外部 各 1 件

*「外部」は友人筋からの投稿です。

素敵なバースデイメッセージを得て

こうした私の“変調”ぶりに気づいた、柳川壺信さんと今道周雄さんから相次いでお見舞いのお電話をいただけてしまいました。こちら、そのお氣遣いに感謝しながら「病氣や怪我をしたわけではありませんからそのうちに」とお答えしておきましたが、実は、自分でも訳が分からないまま、生活パターンが大きく変わってしまって弱っていたのです。「下手っぴテニス中断によって大幅に増えた自由時間を利用することに

よって、柳川春信さんや今道周雄さんに負けない投稿ができるぞ」と目論んでいたのですが、その実況の分からない“無気力症候群(?)”に見舞われてしまっていたのです。何より、小田高時代に物理の辻村先生から「皆さん、眠っている時は死んでいるのと同じものなんですよ」と諭されて以来、眠ることが大嫌いになっていたのにもかかわらず、睡眠の虜になってやたらと朝寝、昼寝、夕寝をするようになってしまったのですから困ったものです。「これが本物のポケなのかなあ」と少々不安になってしまいました。

そして、「この”無気力症候群(?)”こそ、笑ってすますことのできない本物のポケか」と思いつつ、誕生日の前日にリハビリの先生に「下手っぴテニスを止めたら”無気力症候群”になってしまったのですがどうしてなんですか」とお聴きしたところ、「陽に当たらなくなったからでしょう」という明快な言葉が返ってきました。リハビリ師の言葉は「そうか、日光には人の体を活性化させる効果があったのか」ということを再認識させてくれる」素敵なバースデイメッセージとなりました。今後、日光浴の日課をとり入れた生活パターンをみなおして日々を明るく過ごしていこうと思っています。

Web11 で小田高 11 期会の相互交流を続けませんか

そんなわけで、長いこと冬眠していた古狸がねぐらから飛び出してきたみたいな妙な気持ちなのですが、およそ3か月半ぶりに投稿したのがこの記事です。久しくご無沙汰しているうちに、いずれも7組のクラス委員であった山本哲照兄のからみで、中條満兄(7組)と井尻淳さん(小田高11期同期生以外で山本哲照兄のご友人)からの初投稿と嬉しい出来事がありましたね。Web11は、2008年4月に発行されてから今道さんが私費を投じて編集し続けてくださったホームページです。高校同期生のホームページは類例がなく、このことを話すと大抵の人は羨ましがっています。小田高11期会が突然休止してしまったので、せっかくお知り合いになれた皆さんともお会いすることができなくなってしまいました。私も気を取り直して活発なWeb11投稿を再開していくつもりですが、皆さんもお気軽に投稿され、Web11の上で相互交流を続けて行かれませんか。もし、記事仕立てにお慣れになっておられない方がおられたら、お手伝いさせていただきますので、どうぞ走り書きのメモでもファクシミリ0466-33-1793宛にお送りください。

以上